

第3回 日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師 フォローアップ研修会  
実践報告会 質疑応答集

2023年12月2日 フォローアップ研修にご参加いただきありがとうございました。  
実践報告会におきまして、当日いただいたチャットでの質問に対して、発表者の方から  
ご回答いただきましたのでみなさまにお知らせいたします。

1. 『施設における重症心身障害看護師の役割と実践 ～ リソースナースの会の活動を中心に～』  
心身障害児総合医療療育センター むらさき愛育園 田部 ひろみ 氏 稲葉 美保 氏

質問1. リソースナースは、他の専門看護師などと、どのようなつながりがあるのでしょうか。

- A. 当センターのリソースナースは、看護師免許に付随する有資格を持った専門看護師で構成（資料参考）  
各々の資格は違うが、一緒に活動に取り組むことが多く、その際は事前に話し合い、お互いの意見を  
共有して、院内の研修や院外での活動を行っている。

質問2. ファシリテータとして参加した時のことを詳しく教えてください。

- A. 全国の重心施設から看護師33名参加。参加者に困りごとや課題を事前にアンケートを取り、5つの  
グループに分かれ其々ディスカッションを行い、最後にその内容をまとめ、掲示発表した。  
グループは、①呼吸関連 ②ACP・倫理 ③在宅支援・地域連携 ④感染対策 ⑤スタッフ・新人教育

質問3. 研修に参加された保育園の看護師の人数がわかれば教えてください。

- A. 2023年2月約40名・2023年11月約30名。  
長らく実践から離れている方、経験が少なく責任を重く感じている方、悩みがあり不安に思っている  
看護師が多いという現状から、その方々を対象として集まってもらった。

2. 『施設内研修への取り組み ～ 自分たちの食事介助を体験しよう ～』  
済生会小樽病院 みどりの里 本多 麻美 氏

質問1. 摂食体験の取り組みについて発表ありがとうございました。研修の参加者は、希望者のみでしょうか。

- A. 参加者は希望者ではなく所属長が選抜した方。

質問2. 食事摂取の研修以外ではどのような活動をしているか。

- A. 研修以外の活動は、偶数月に委員会を開催。院内向けのかかわら版の発行、  
済生会ソーシャルインクルージョン推進計画、口腔ケアチームの活動、看護学校等の講師。

質問3. 看護師と介護士、保育士では、事前に知りたい事や研修の振り返り内容に違いがありましたか。

- A. 事前に知りたい事や研修の振り返り内容について職種での違いはあまりなかった。  
しかし、経験年数での違いはあった。

質問4. 嚥下に合わせて一口量を選択すること、とは具体的にはどのようにするのか。

- A. 一口量とは、一口で飲み込める量で飲み込む際に口から出ない量と研修内でSTよりアドバイスもあった。

質問5. トロミは何を使用していますか。問題なければ、商品名を教えてください。

- A. 株式会社フードケアのネオホワイトロミール スリム。

### 3. 『 コロナ禍での重症心身障害看護師としての取り組み 』

鼓ヶ浦こども医療福祉センター 首藤 陽子 氏

質問1. 「楽しい職場づくり」の研修はどのような事をされていますか。

- A. 当法人の職員で、コーチングのインストラクター資格を持つ者に講師を依頼した。  
グループワーク形式で、同じ職場の職員をグループにした。  
グループワークでは、
1. 自分が楽しいと思える職場はどんな職場か。自分の考えを話す。
  2. 褒め褒めワーク。グループ内で一人の人に対して、良いと思っている事をグループ全員が伝える。褒められた人は、どう思ったか話す。(全員がおこなう)
  3. 最近良かった事、感謝した事を3つ書いて発表する。
  4. 「楽しい職場づくり」のために、今日から何をするのかを受講者全員の前で宣言。
- 1 時間程度の研修。研修終了後の受講者の表情がとても良かった印象がある。

以上となります。